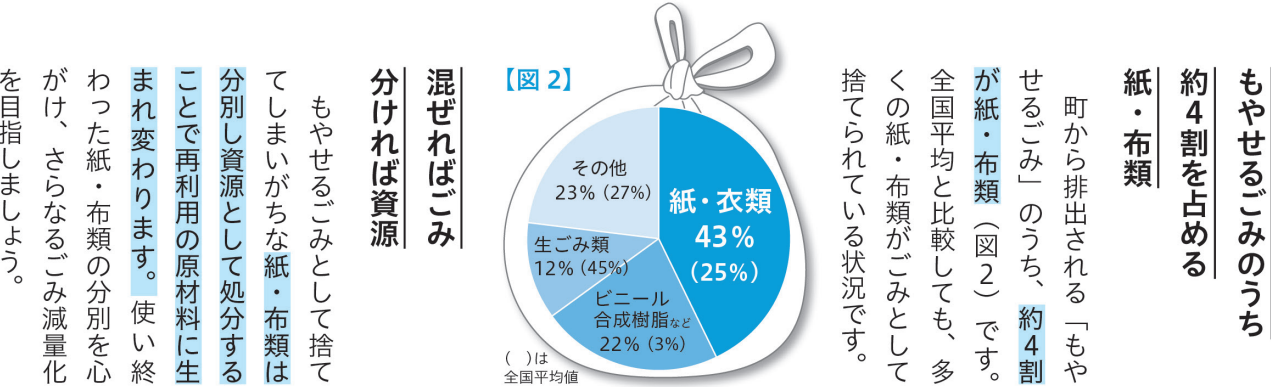
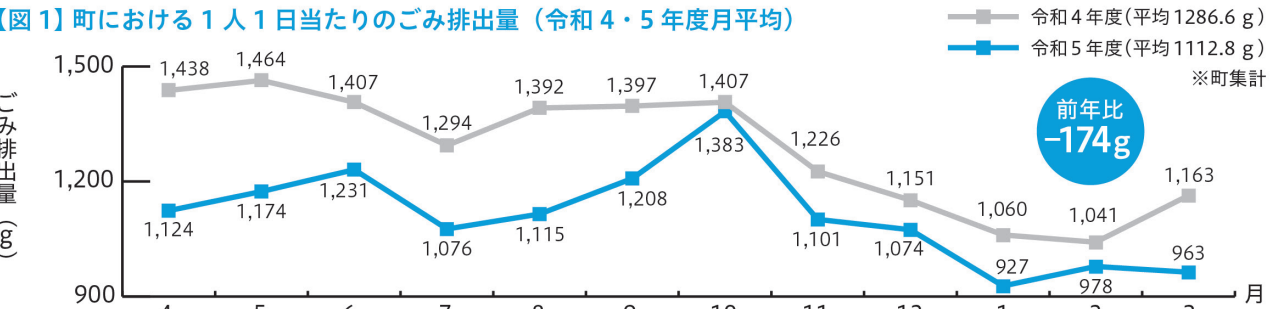


ごみ減量化のカギは 紙・布 類のリサイクル

町で排出される「もやせるごみ」のうち、約4割を占める紙・布類。もやせるごみとして捨ててしまいがちですが、再利用の原材料となる貴重な資源の一つです。紙・布類のリサイクルを推進し、さらなるごみ減量化を目指しましょう。

みなさんの力で減り始めているごみ排出量

今年3月に環境省が発表した令和4年度の「一人一日当たりのごみ排出量」において、福島県平均は1、021グラムで全国ワースト1位という結果でした。その中で、桑折町は1、291グラムと、全国でも多いことが分かります。しかし、町民のみなさんのごみ減量化への取り組みの結果、ごみ排出量は少しずつ減り始めています。町における令和4・5年度の「一人一日当たりのごみ排出量」の比較(図1)では、前年比平均174グラム減らすことができました。私たち一人一人の小さな気づきや行動から、ごみ排出量は確実に減らせます。ごみ減量化のポイントを再確認し、クリーンな町を目指して引き続きご協力をお願いします。



布類(衣類)の再利用

もやせるごみにおける布類とは、主に洋服などの衣類です。汚れや破れなどが無い衣類は、資源として再利用しましょう。

- リサイクルショップやフリーマーケットアプリへ出品
- 町が行う古着類の特別回収へ持ち込む(春・秋2回)

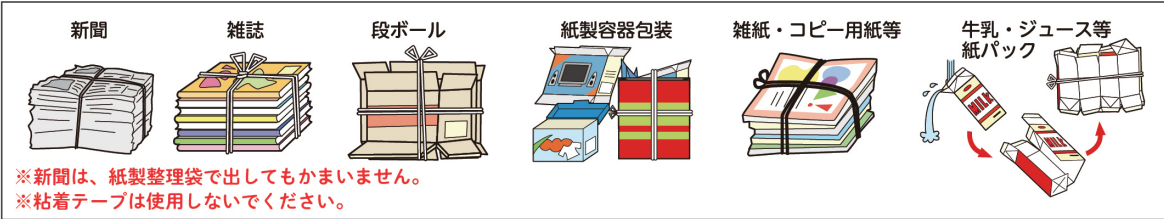
／ 思わぬ臨時収入?!

紙類の分別

もやせるごみとして捨ててしまいがちな紙類。正しく分別し紙資源回収日に出すことで、貴重な資源として再利用され、ごみ減量化につながります。町では今年4月から、紙資源回収を強化していますので、紙類の分別内容を改めて確認し、紙類ごみの減量化を図りましょう。

新聞や段ボールだけじゃない?! お菓子の箱や雑紙などもリサイクル

紙類の分別内容は下図のとおりです。新聞・雑誌や段ボール、牛乳パックのほかに、お菓子の箱などの紙製容器包装や雑紙なども紙資源回収の対象です。



紙マークが目印「紙製容器包装」

お菓子の箱やティッシュ箱などで、「紙製容器包装マーク」が付いているものが対象です。ごみ箱に捨てる前に、一度確認してみましょう。

紙袋に入れて出してもOK

紙製容器包装など、大きさの違う紙類まとめる場合は、紙袋に入れて出すことも可能です。 ※紙袋の持ち手を結び、口を閉じてください(粘着テープ使用不可)。

紙資源として出せない紙 ▶もやせるごみに出す◀

- ・ろう引き紙(防水加工された紙など)
- ・ラミネート加工紙
- ・印画紙(写真など)
- ・感熱紙(レシートなど)
- ・複写紙(宅配伝票、領収書など)
- ・汚れた紙(油污れなど)
- ・臭いが着いた紙

ごみ減量化に向けた取り組み

資源回収報奨金

町内会や子供会など各種団体では、自主的に資源回収を行っています。町では、資源回収に取り組んだ団体に対し、1kgあたり5円の報奨金を支給しています。令和5年度は、33団体で回収総量約38.2tに及びました。



ごみの出し方教室

町では、ごみの出し方教室として、各町内会会合や各種サロン活動の場へ職員を派遣しています。ごみの出し方のポイントやごみ減量化のアドバイスなど、知りたいテーマに合わせて役立つ情報をお伝えします。

